



A コマンド

この章では、A で始まる Cisco Nexus Virtual Services Appliance コマンドについて説明します。

aaa authentication login console

コンソール ログインの AAA 認証方式を設定するには、**aaa authentication login console** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
aaa authentication login console {group group-list} [none] | local | none}
```

```
no aaa authentication login console {group group-list} [none] | local | none}
```

構文の説明

group	認証にサーバ グループを使用するように指定します。
group-list	サーバ グループのスペースで区切られたリスト。リストには、次のようなサーバ グループを含めることができます。 <ul style="list-style-type: none">• tacacs+ : 設定済みのすべての TACACS+ サーバ• 設定済みの任意の TACACS+ サーバ グループ名
none	(任意) 認証にユーザ名を使用するように指定します。
local	(任意) 認証にローカル データベースを使用するように指定します。

デフォルト

local

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、コンソール ログインの AAA 認証方式を設定する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# aaa authentication login console group tacacs+
```

次に、デフォルトのコンソール ログインの AAA 認証方式に戻す例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# no aaa authentication login console group tacacs+
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa group server tacacs+	TACACS+ サーバ グループを作成します。
show aaa authentication	AAA 認証情報を表示します。
show aaa groups	AAA サーバ グループを表示します。
tacacs-server host	TACACS+ サーバを設定します。

aaa authentication login default

デフォルト AAA 認証方式を設定するには、**aaa authentication login default** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
aaa authentication login default {group group-list} [none] | local | none}
```

```
no aaa authentication login default {group group-list [none] | local | none}
```

構文の説明	
group	認証に使用するサーバ グループ リストを指定します。
<i>group-list</i>	サーバ グループをスペースで区切って指定します。リストには、次のようなサーバ グループを含めることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • tacacs+ : 設定済みのすべての TACACS+ サーバ • 設定済みの任意の TACACS+ サーバ グループ名
none	(任意) 認証にユーザ名を使用するように指定します。
local	認証にローカル データベースを使用するように指定します。

デフォルト **local**

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、コンソール ログインの AAA 認証方式を設定する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# aaa authentication login default group tacacs
```

次に、デフォルトのコンソール ログインの AAA 認証方式に戻す例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# no aaa authentication login default group tacacs
```

関連コマンド	コマンド	説明
	aaa group server tacacs+	TACACS+ サーバ グループを作成します。
	show aaa authentication	AAA 認証情報を表示します。
	show aaa groups	AAA サーバ グループを表示します。
	tacacs-server host	TACACS+ サーバを設定します。

aaa authentication login error-enable

コンソールに AAA 認証失敗メッセージを表示するように設定するには、**aaa authentication login error-enable** コマンドを使用します。エラーメッセージを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

aaa authentication login error-enable

no aaa authentication login error-enable

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ユーザがログインしたときにどのリモート AAA サーバも応答しない場合、認証はローカル ユーザ データベースによって処理されます。表示をイネーブルにしてある場合は、次のいずれかのメッセージがユーザに対して生成されます。

```
Remote AAA servers unreachable; local authentication done.
Remote AAA servers unreachable; local authentication failed.
```

例

次に、AAA 認証失敗メッセージのコンソールへの表示をイネーブルにする例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# aaa authentication login error-enable
```

次に、AAA 認証失敗メッセージのコンソールへの表示をディセーブルにする例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# no aaa authentication login error-enable
```

関連コマンド

コマンド	説明
show aaa authentication	AAA 認証の設定を表示します。

aaa authentication login mschap

ログイン時に Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol (MSCHAP; マイクロソフト チャレンジ ハンドシェーク 認証プロトコル) 認証をイネーブルにするには、**aaa authentication login mschap** コマンドを使用します。MSCHAP をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

aaa authentication login mschap

no aaa authentication login mschap

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、MSCHAP 認証をイネーブルにする例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# aaa authentication login mschap
```

次に、MSCHAP 認証をディセーブルにする例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# no aaa authentication login mschap
```

関連コマンド

コマンド	説明
show aaa authentication	AAA 認証の設定を表示します。

aaa group server tacacs+

TACACS+ サーバ グループを作成するには、**aaa group server tacacs+** コマンドを使用します。
TACACS+ サーバ グループを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

aaa group server tacacs+ group-name

no aaa group server tacacs+ group-name

構文の説明	<i>group-name</i>	TACACS+ サーバ グループ名。名前は英数字で、大文字と小文字が区別されま す。最大長は、64 文字です。
--------------	-------------------	--

デフォルト	なし
--------------	----

コマンド モード	グローバル コンフィギュレーション (config)
-----------------	----------------------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者
----------------------	-----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	TACACS+ を設定する前に、 tacacs+ enable コマンドを使用して TACACS+ をイネーブルにする必要 があります。
-------------------	--

例	次に、TACACS+ サーバ グループを作成する例を示します。
----------	---------------------------------

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# aaa group server tacacs+ TacServer
n1010(config-tacacs)#
```

次に、TACACS+ サーバ グループを削除する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# no aaa group server tacacs+ TacServer
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show aaa groups	サーバ グループ情報を表示します。
	tacacs+ enable	TACACS+ をイネーブルにします。

attach module

アクティブな Virtual Supervisor Module (VSM) からスタンバイ VSM コンソールにアクセスするには、**attach module** コマンドを使用します。

attach module *module-number*

構文の説明

module-number 既存のモジュールを識別する番号を指定します。指定できる範囲は 1 ~ 66 です。
(注) 動作する値は 2 だけです。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、セカンダリ VSM のコンソールに接続する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# attach module 2
n1010#
```

使用上のガイドライン

モジュール番号の有効な範囲は 1 ~ 66 ですが、動作する値は 2 だけです。

関連コマンド

コマンド	説明
reload module	モジュールをリロードします。
show cores	コアのリストを表示します。
show processes	すべてのプロセスの状態と開始カウントを表示します。

